

三菱電機情報セキュリティソリューション



勝山光太郎*



小松田敏二**



飯島康雄***

要 旨

インターネットを代表とするいわゆるIT化の進展により、企業はビジネスリスクの一つとして、ITリスクとりわけ情報セキュリティリスクを考慮した経営を迫られている。

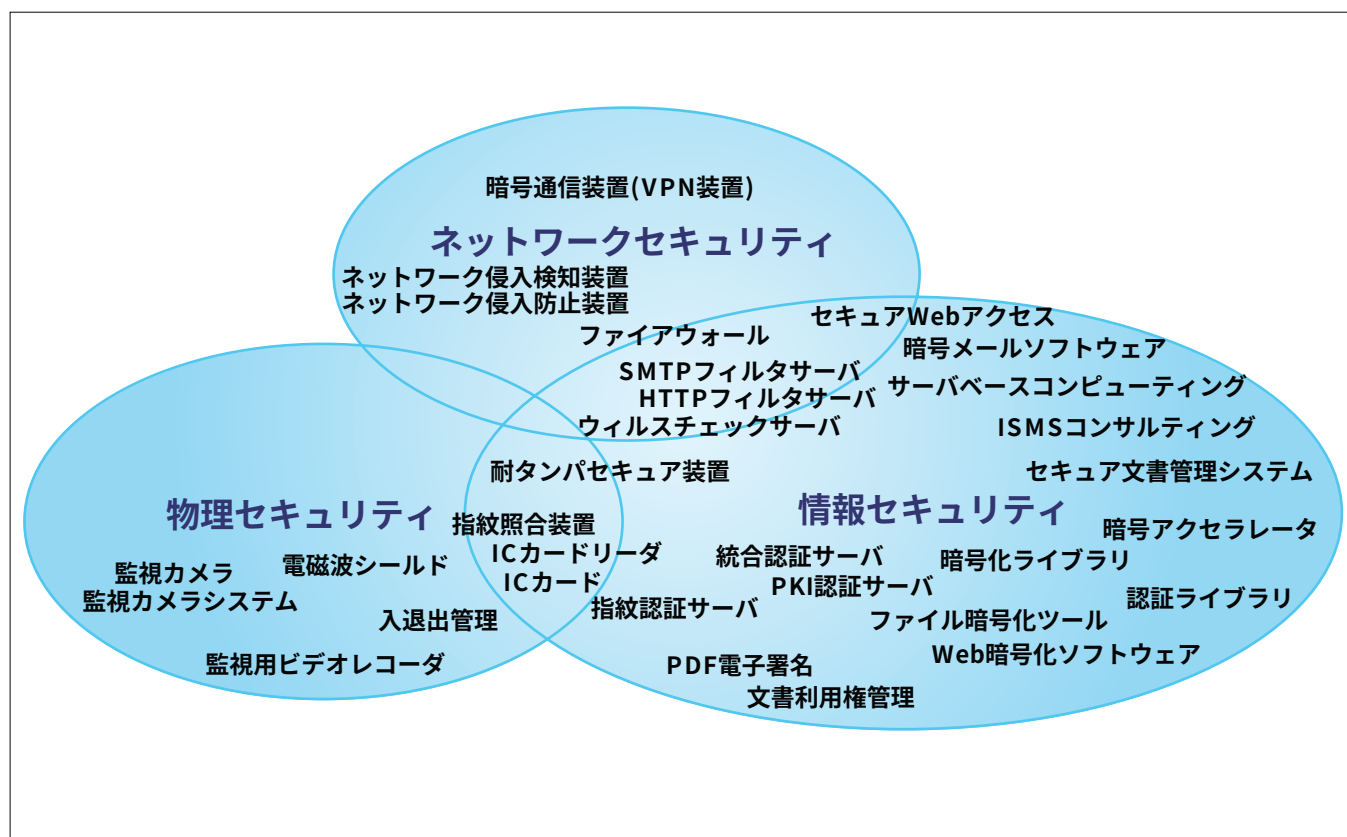
近年、マスコミで取り上げられることが多くなってきている個人情報の漏洩(ろうえい)事件や、MS-Blasterなどのウイルスにより情報システムがダウンするなどのリスクをどうコントロールしていくかが重要となる。さらに、法制度の面では、個人情報保護法や不正競争防止法において、情報の管理責任という意味で情報セキュリティ対策の実施がうたわれている。

情報セキュリティ対策を実施し情報資産を守るためには幾つかの側面があり、単に技術的側面だけでなく、設備や運用といった側面からもトータルにセキュリティ対策を実施することが求められている。経済産業省が2000年10月に

発表した「情報セキュリティ総合戦略」においても、こうした観点から、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)やセキュリティ監査の重要性が述べられている。

三菱電機グループでは、情報セキュリティ、ネットワークセキュリティ、物理セキュリティを連携させたトータルな取り組みをしており、お客様のニーズに合ったトータルセキュリティソリューションを提供している。本誌2002年4月号⁽¹⁾では、“情報セキュリティ技術”を中心に、2003年4月号⁽²⁾では“ユビキタス社会に向けたセキュリティへの対応”を紹介してきたが、今回の特集号では“情報セキュリティソリューション”に焦点を当てて紹介する。

“情報漏洩防止ソリューション”や“公開鍵(かぎ)基盤PKI(Public Key Infrastructure)による認証サービス”など、安全・安心を支える多彩なソリューションがあり、経営リスクに対応した体系的対策・運用を可能としている。



三菱電機のトータルセキュリティ

三菱電機(株)は、情報セキュリティ、物理セキュリティ、ネットワークセキュリティのいろいろなコンポーネントを組み合わせ、お客様のニーズに合ったセキュリティソリューションをトータルに提供する。